

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷中学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	58.1%					○
数学	52.5%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	59.2%					○
情報の扱い方に関する事項	59.6%	○				
我が国の言語文化に関する事項	75.6%					○
話すこと・聞くこと	58.8%					○
書くこと	65.3%					○
読むこと	47.9%					○

【考察】

- 全体的に全国平均正答率を上回る結果でした。特に「書くこと」の設問において無解答率が低く、短答式や記述式の設問でも正答率が高かったのは、普段の授業の中で、自分の考えを文章にまとめたり、課題作文を創作したりする活動に根気強く取り組んだ成果と思われる。
- 「問題1三 話し合いの発言における、情報と情報の関係についての理解」など、「情報の扱い方に関する事項」の領域に課題が見られました。今後は「具体と抽象」「事実と根拠」など、必要となる情報に着目し、内容を正しく捉える力を身につけるため、「読むこと」の領域の学習や、情報を収集し整理する活動に力を入れてまいります。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.1%					○
図形	40.3%	○				
関数	60.7%					○
データの活用	55.5%					○

【考察】

- 全体的に全国平均正答率を上回る結果でした。特に「データの活用」の領域における説明問題では、全国と比べて正答率が大きく上回っています。データから読み取れることについて、自分の考えを他者に説明したり、話し合ったりする活動を多く取り入れ、意欲的に取り組んだ成果だと考えられます。
- 「図形」の領域では、図形や数の性質を証明したり、新たな性質を見い出したりする力が不足していることが課題です。問題の条件を整理し、筋道を立てて説明する活動や条件を変えて発展的に考え、新たな性質について予想し、その予想が正しいかどうかを証明する活動を行っていきます。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立表郷中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	28.2	50.4	18.1	3.0
	表郷中	21.3	57.4	17.0	4.3

(単位 %)

【考 察】

- 授業や自主学習の場面で、分からないことがあるときは主に教科書や資料集を使って学習しています。また、タブレットを用いて調べる活動も行っています。今後は、一人一人の学習の状況に応じて、適切な学び方を選択できるよう支援してまいります。
- 定期テスト前のポプラタイム（学習会）を今後も継続して行い、分からないところがあるときには安心して質問できる環境をつくってまいります。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6
	表郷中	2.1	21.3	51.1	14.9	8.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 平日の学習時間として、1時間以上と回答した生徒が全体の7割を上回る結果となりました。その中で、3時間以上と回答した生徒は全国の数値と比較すると低く、家庭における学習時間が短いといえます。調査実施時は、多くの生徒が毎日放課後の部活動に参加しており、帰宅時間が遅かったことが要因と考えられます。
- 今後は、部活動引退後の学習時間や方法の指導に力を入れ、スムーズに学習中心の生活に移行できるよう支援してまいります。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	27.1	50.8	18.0	3.2
	表郷中	31.9	46.8	12.8	6.4

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が約8割となりました。授業で学習したことを家庭で復習したり、分からなかった点を質問したりする習慣が身につけている生徒が多くいることがうかがえます。
- 今後も授業の課題（めあて）を明確にし、生徒が「何を学習するのか」を意識できるように授業を進めます。また、授業の終わりに本時の学習内容をまとめることで「何ができるようになったのか」「何がわからなかったのか」を明らかにし、次の学びにつなげられるよう支援してまいります。

4 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	49.8	41.9	6.0	1.8
	表郷中	70.2	25.5	2.1	2.1

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が9割を上回る結果となりました。道徳の授業で、登場人物の言動を自分のこととして考え、積極的にペアやグループで話し合い活動に取り組んでいる成果と思われます。
- 今後も自分の考えと他者の考えを比べる機会を設定し、物事を多面的にとらえる力を養っていきます。また、道徳の授業で学んだことを日常生活で生かそうとする意欲を高める授業づくりをしてまいります。